

令和3年度介護施設等防災リーダー養成研修事業実施結果

1 開催日時

令和4年3月10日(木) 9:00~16:00

令和4年3月17日(木) 9:00~16:00

2 開催内容

- ・ WEB方式で開催
- ・ プログラムは別添1及び1-2のとおり(10日, 17日プログラム順序変更)

3 受講者参加状況

(1) 申込方法

メールにて各施設に対し研修案内(別添2)添付により参加募集を行い, WEB集計フォームにて参加者集計

(2) 参加者

- ・ 申込者総数201名で当日WEB参加できた受講者は174名
- ・ WEB参加できなかった27名は, 新型コロナウイルス感染症対応等業務多忙で当日参加できなかったもの。
- ・ 日別, 施設形態別参加状況は表1のとおり

(表1 研修日別・施設形態別申込・参加状況)

区分	3月10日(木) 集計			3月17日(木) 集計			総計			
	申込者	参加者	参加率(%)	申込者	参加者	参加率(%)	申込者	参加者	参加率(%)	
総計	105	99	(94.3)	96	75	(78.1)	201	174	(86.6)	
施設形態	特別養護老人ホーム	25	21	(84.0)	34	30	(88.2)	59	51	(86.4)
	介護老人保健施設	11	11	(100)	7	5	(71.4)	18	16	(88.9)
	介護型有料老人ホーム	9	9	(100)	6	6	(100)	15	15	(100.0)
	住宅型有料老人ホーム	15	14	(93.3)	11	9	(81.8)	26	23	(88.5)
	グループホーム	8	7	(87.5)	7	4	(57.1)	15	11	(73.3)
	サービス付き高齢者住宅	8	8	(100)	9	7	(77.8)	17	15	(88.2)
	その他	29	29	(100)	22	14	(63.6)	51	43	(84.3)

(3) 講師一覧

別添3のとおり

(4) 受講者名簿

別添4のとおり

4 研修結果

(1) 受講者の背景(事前アンケート 別紙1)

- ・ 受講前にWEBフォームで受講生の現状の災害対策について10日受講生に対しアンケート調査を実施

- ・アンケート回答 63 名（回答率 63%）
- ・BCP は作成予定・見直し中が 42 名（66.7%），施設は過半数は耐震・免震構造も自家発保有率は低く，稼働時間も 6 時間，わからない回答が多い。
- ・BCP 作成の必要性は認識しているも災害時の対する認識が低い受講生が多い状況。

(2) 研修目標

前記アンケート結果から、「激甚災害から施設を守る」大項目を達成するため次の中項目を研修目標として行った。

- ①激甚災害は近い将来起こり，その被害状況を認識する。
- ②激甚災害に対応できる BCP を作成する。
- ③激甚災害の備えとして何が必要かを考える

(3) 研修内容

別添 DVD 参照

(4) 研修成果

17 日参加者に研修終了，WEB フォームでプログラム内容，今後の災害対応に関するアンケート調査を実施（結果詳細別紙 2 参照）

- ① プログラムに関すること
 - ・ すべてのカリキュラムが 90%以上「参考になった」と回答。
 - ・ 被災経験者の事例報告，初動報告に関する講義は 50%以上「非常に参考になった」と回答。
 - ・ ブレイクアウトルームは 90%「参考になった」と回答し，その理由として施設形態別で行い他施設の意見が聞けたことがあげられたが，「参考にならなかった」との回答があるも WEB で自分が意見できなかったことに対する反省が多かった。
- ② 今後の災害対応に関すること

南海トラフ地震は間違いなくくるという危機意識を持ち，BCP も見直さなければならぬと多くの受講生が認識するも，災害対応の自信，備蓄量についてはまだマイナス要素が高く今後の課題も生じた。

以上の結果から激甚災害から施設を守るという研修目標は到達できたと考察する。

受講生の災害対策背景(10日事前アンケート)

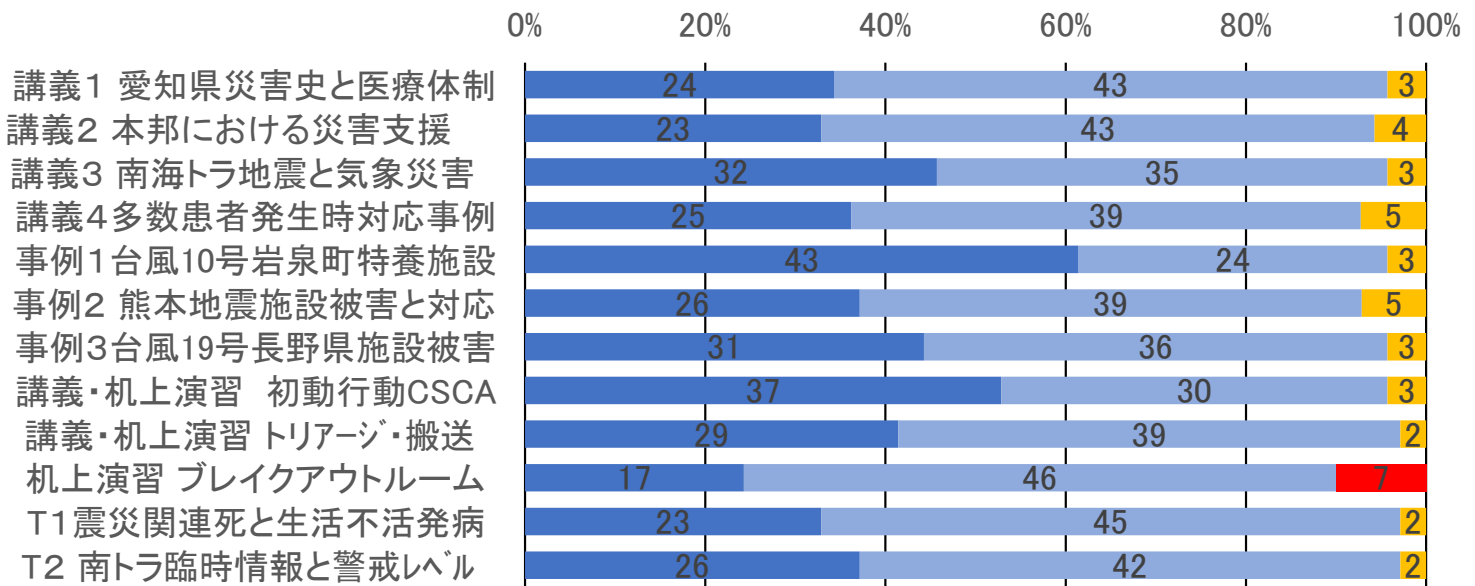
区分	総計	ハザードマップ		BCP				初動行動計画			施設構造				
		活用	非活用	作成	見直し	作成予定	不明	有	無	わからない	免震	耐震	耐震一部 非耐震	非耐震	不明
総計	63	52	11	19	10	32	2	27	22	12	2	38	2	4	17
1. 特別養護老人ホーム	15	14	1	2	3	10		6	5	2	2	9		1	3
2. 介護老人保健施設	6	6		3		3		3	2	1		5			1
4. 住宅型老人ホーム	9	9		4	2	2	1	5	4			6			3
5. 介護付有料老人ホーム	6	3	3	1		5		2	2	2		3			3
6. サービス付き高齢者住宅	6	5	1	1	1	4		2	2	2		4			2
7. グループホーム	3	2	1	1	2			2	1			2			1
8. ケアハウス	4	3	1	2	1	1		2	1	1		1		1	2
10.デイサービス	7	5	2	1		6		2	4	1		4	2		1
11.その他	7	5	2	4	1	1	1	3	1	3		4		2	1

自家発電種類

区分	総計	保有	自家発					発動 発電機	稼働時間					
			軽油	重油	太陽光	都市 ガス	灯油		1週間	3日間	1日	6時間	その他	わからない
総計	63	26	13	3	2	3	1	4	1	4	5	15	3	24
1. 特別養護老人ホーム	15	8	3	2			1	2		1		6		4
2. 介護老人保健施設	6	5	3			2				2	1	2		1
4. 住宅型老人ホーム	9	2				1		1				1	1	4
5. 介護付有料老人ホーム	6	4	3					1			2	2	1	1
6. サービス付き高齢者住宅	6	3	1		2					1		1		2
7. グループホーム	3	1		1								1		2
8. ケアハウス	4	0							1		1	1		4
10.デイサービス	7	1	1							1			1	1
11.その他	7	2	2									1		5

事後アンケート結果(3月17日)

1 各カリキュラムの受講生評価 N=70



■ 1.非常に参考になった。 ■ 2.参考になった ■ 3.あまり参考にならなかった。 ■ 4.参考にならなかった。

2 ブレイクアウトルームの評価理由

①非常に良かった理由 N=13

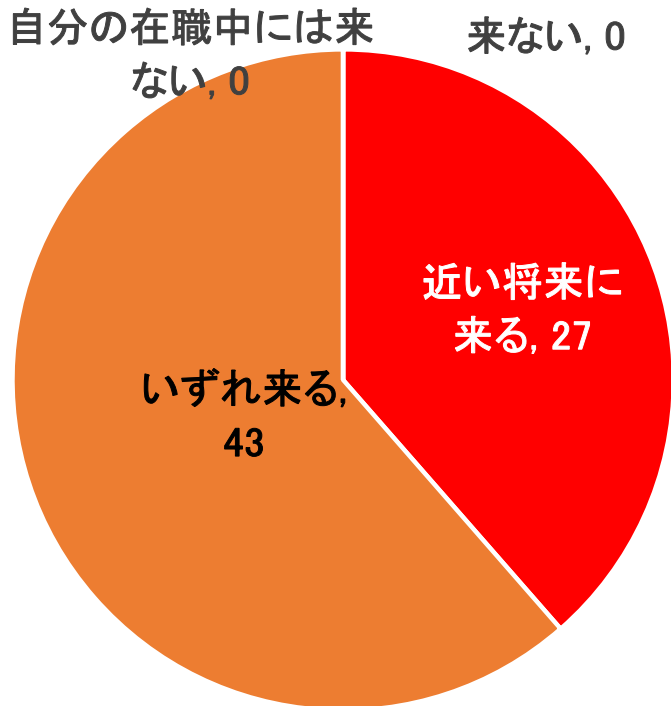
机上演習ブレイク	班	理由
1 非常に良かった	住宅型有料老人ホーム	BCP作成中ですがマットレスなど備品の確保や汚染物の処理など参考になりました。
1 非常に良かった	サービス付高齢者住宅	ズームでのグループワーク新鮮でした
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	ディスカッション出来て良かったです。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	ブレイクアウトルームは参加型なので緊張感があり、しっかり考えることができたと思います。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	各質問で色々な考え方を聞くことが出来た。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	具体的な事例で判断の難しさがわかった
1 非常に良かった	介護付有料老人ホーム	施設の形態にあった質疑があつてよかった。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	他の施設の意見が聞けて参考になった。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	他施設の意見が聞けて参考になったから。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	他施設の意見を伺うことが出来て、参考になりました。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	同じ形態の施設の方々と話せたのが良かったです。
1 非常に良かった	特別養護老人ホーム	内容がわかりやすかった。計画作成に参考になった
1 非常に良かった	グループホーム	偏ることなく多くの参加者の意見聞いた

②良くなかった理由 N=5

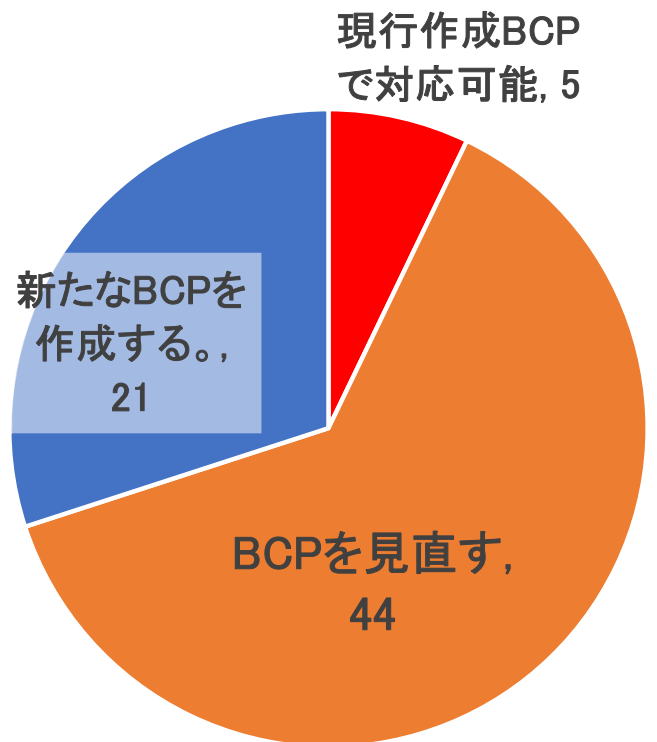
机上演習ブレイク	班	理由
3 良くなかった	デイサービス	あまり質疑応答がなかったので…もう少し質疑応答をリードしていただけると、有り難かったです。
3 良くなかった	住宅型有料老人ホーム	あまり積極的な話ができなかった。少し残念でした。
3 良くなかった	その他	リモートでグループワークは難しい
3 良くなかった	介護老人保健施設, 養護老人ホーム	他施設の意見を聞くことがあまり出来なかったため。
3 良くなかった	介護老人保健施設	発言したくても、発言をするタイミングがつかめなかった。

3 研修成果

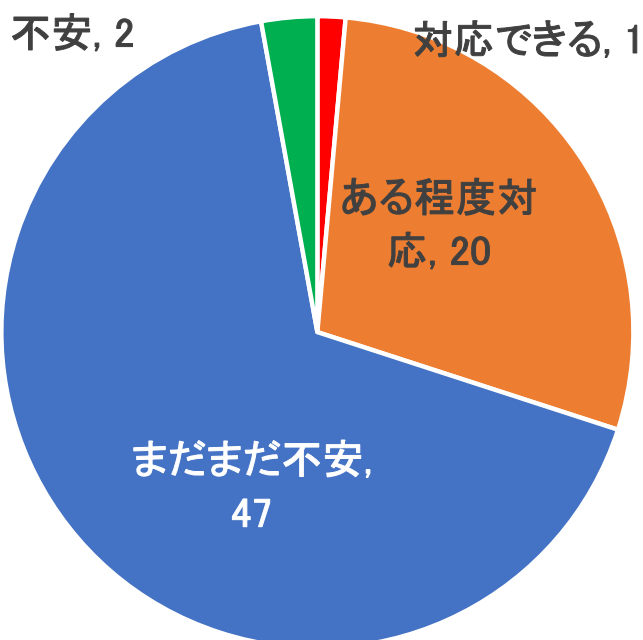
南海トラフ地震と激甚災害はいつ来るか N=70



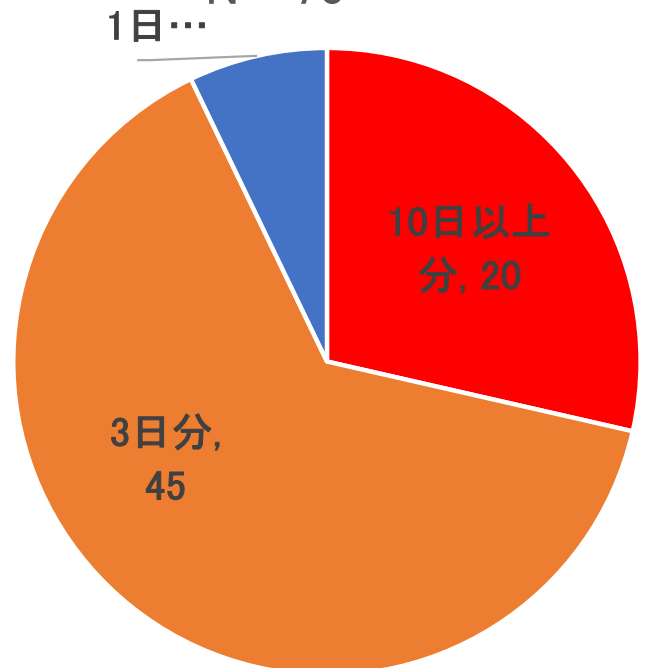
BCPについて N=70



初動行動対応 N=70



自施設における備蓄必要量 N=70



高齢者介護施設防災リーダー養成研修会(3月10日) プログラム(前半)

別添1

時 間

- 9:00 開会挨拶・オリエンテーション 愛知医科大学災害医療研究センター長 津田 雅庸
- 9:05 講義 1「愛知県における災害史と医療体制」
※講師：名古屋掖済会病院 北川 喜己
- 9:20 講義 2「本邦における災害支援体制」
※講師：国立病院機構本部DMAT事務局 近藤 久禎
- 9:35 講義 3「南海トラフ地震と激甚気象災害はいつ来るのか」
※講師：愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘
- 10:05 休憩
- 10:10 講義 4「事例紹介ー過去の激甚災害での介護施設等の被害と対応」
講義 4-1 台風10号における岩手県岩泉町特別養護老人ホームでの被害と対応
※講師：元・岩手県特別養護老人ホーム百楽苑総務生活相談課員 掛川千恵子
- 10:30 講義 4-2 熊本地震における施設被害と対応
※講師：国立病院機構本部DMAT事務局 小早川義貴
- 10:50 講義 4-3 令和元年台風19号（長野県）における施設被害と対応
※講師：愛知医科大学災害医療研究センター 高橋 礼子
- 11:10 休憩

高齢者介護施設防災リーダー養成研修会(3月10日) プログラム(後半)

- 11:15 講義 5・机上演習 1；「介護施設等における災害対応のあり方～初動行動～」
(組織体制、職員・入所者・施設確認、連絡体制、災害対応方針の決定)
※講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院災害医療センター長 稲田 眞治
机上演習；講義後、施設形態別グループに分かれ、ブレイクアウトルームで演習を行います。
- 12:15 昼食
- 13:15 講義 6・机上演習 2；「介護施設等における災害対応のあり方～トリアージ・搬送～」
※講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院副院長 花木 芳洋
机上演習；講義後、施設形態別グループに分かれ、ブレイクアウトルームで演習を行います。
- 14:15 休憩
- 14:20 講義 7-1「トピック：震災関連死と生活不活発病」
- 14:40 講義 7-2「トピック：南海トラフ地震臨時情報と気象災害等における避難情報」
※講師：愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘
- 15:00 講義 7-3「トピック：多数患者発生時の対応事例～新型コロナウイルス対策から～」
※講師：国立病院機構本部DMAT事務局 近藤 久禎
- 15:30 総合質疑
- 16:00 閉会

3月17日防災リーダー養成研修プログラム(前半)

3月17日(木)

9:00 ~ 9:05	5分	開会挨拶・オリエンテーション	愛知医科大学災害医療研究センター長	津田 雅廣
9:05 ~ 9:20	15分	講義 1「愛知県における災害史と医療体制」	講師：名古屋掖済会病院副院長	北川 喜己
9:20 ~ 9:35	15分	講義 2「本邦における災害支援体制」	講師：国立病院機構本部DMAT事務局次長	近藤 久禎
9:35 ~ 10:05	30分	講義 3「南海トラフ地震と激甚気象災害はいつ来るのか」	講師：愛知医科大学医療研究センター講師	小澤 和弘
10:05 ~ 10:10	5分	休憩		
10:10 ~ 10:40	30分	講義 4「多数患者発生時の対応事例～新型コロナウイルスクラスター対策から～」	講師：国立病院機構本部DMAT事務局次長	近藤 久禎
10:40 ~ 11:00	20分	講義 5-1「事例紹介－過去の激甚災害での介護施設等の被害と対応」	台風10号における岩手県岩泉町特別養護老人ホームでの被害と対応	講師：元・岩手県特別養護老人ホーム百楽苑総務生活相談課員 掛川千恵子
11:00 ~ 11:20	20分	講義 5-2「事例紹介－過去の激甚災害での介護施設等の被害と対応」	熊本地震における施設被害と対応	講師：国立病院機構本部DMAT事務局 小早川 義貴
11:20 ~ 11:40	20分	講義 5-3「事例紹介－過去の激甚災害での介護施設等の被害と対応」	令和元年台風19号（長野県）における施設被害と対応	講師：愛知医科大学災害医療研究センター講師 高橋 礼子
11:40 ~ 12:40	60分	昼食		

3月17日防災リーダー養成研修プログラム(後半)

3月17日(木) PM

11:40 ~ 12:40	60分	昼食		
12:40 ~ 13:40	60分	講義 6「机上演習：介護施設等における災害対応のあり方～初動行動～」	(組織体制、職員・入所者・施設確認、連絡体制、災害対応方針の決定)	講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院災害医療センター長 稲田眞治
13:40 ~ 13:45	5分	休憩		
13:45 ~ 14:45	60分	講義 7「机上演習：介護施設等における災害対応のあり方～トリアージ・搬送～」	講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院副院長	花木芳洋
14:45 ~ 14:50	5分	休憩		
14:50 ~ 15:10	20分	講義 8-1「トピック：震災関連死と生活不活発病		
15:10 ~ 15:30	20分	講義 8-2「トピック：南海トラフ地震臨時情報と気象災害等における避難情報」	講師：愛知医科大学災害医療研究センター	小澤 和弘
15:30 ~ 15:55	25分	総合質疑		
15:55 ~ 16:00	5分	閉会挨拶		

防災リーダー養成研修のご案内

激甚災害から介護施設等を守ろう!!

近年、台風・洪水等の気象災害や、東日本大震災・熊本地震等の大規模地震など、激甚災害が全国各地で頻発し、要配慮者を預かる介護施設等も多くの被害を生じています。

愛知県では東海豪雨以降大きな災害がありませんが、地球温暖化、地殻変動により、いつ起きてもおかしくない状況です。

本研修は、激甚災害から介護施設等を守るため、愛知県から介護施設等防災リーダー養成研修事業の委託を受けた、愛知医科大学が行うものです。

研修内容はオンラインで行い、激甚災害時に介護施設等がどのような被害を生じ、その対策として何が必要かを、過去の事例や愛知県の被害予測を踏まえた講義・机上演習を災害対応の経験豊富な医療従事者・介護従事者のもと行います。

激甚災害から介護施設等を守るためにも皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

[実施日] 令和4年3月10日(木)・17日(木)

[実施時間] 両日とも9時00分～16時00分

[定員] 10日：150施設、17日：150施設(要事前申込)

[対象者] 介護施設等に勤務する職員

[プログラム] 裏面を参照ください

[申込方法] 下記URL、QRコードに受講希望日、受講者名、連絡先等を入力しお申し込みください。

参加費
無料

URL; <https://ssl.formman.com/t/Jp8N/>



[申込締切] 令和4年3月1日

[申込結果] 令和4年3月上旬に参加受講日を研修資料とともに送信させていただきます。

[問合せ先] 愛知医科大学災害医療研究センター

電話：0561-76-3029